

尙本部收容所扱避難者中四名の患者は日本海員救済會及縣立病院に送院し又閉鎖當日に於ける被收容者四名は日本海員救済會に引継ぎたり。

救護品發送並配給概數

戒嚴令實施以來横濱市の秩序漸次回復の緒に就き救護品配給可能の情報に接するや否や本團は直に九月七日神戸出帆の長崎丸及翌八日の軍艦陸奥にて豫て準備したる救急袋(ビスケット一ポンド半、ソー豆一升、福神漬一カン、仁丹又は熊膽丸大一袋、裁縫用具一式、郵便葉書一〇枚、鉛筆二本、塵紙五帖入)其他を急送せり。其後引續き發送したる救護資料にして十月三十日に至る期間に於ける合計概數左の如し。

救急袋一、〇〇〇個。慰問袋四〇個。ナイター一五三打。白米八石。罐詰類二、〇二六罐。味噌、醬油、梅干若干。(以上本團調達)寄贈會四、六一八點(本部及小樽受入)神戸に於て救護團に收容したる罹災海員及其家族及郵船屬員俱樂部並當市内に避